ARCHITECT GRAND DESIGN

AGD半導体ウォッチサービス

リサーチプラン 2026 — 2027
調査・分析計画のご案内

半導体インテリジェンス・サービス

未来予測を、的中させる。

— ハイテクの未来を、地政学で読む。警鐘と提言で、リスクを回避する —



発行　**アーキテクトグランドデザイン株式会社（AGD）**
発行人・監修　**豊崎 禎久（半導体アナリスト ／ AGD 創業者兼ビジョナリスト）**
編集　**チーフアーキテクト**　／　監修協力　**外部専門家**
本資料は、購読をご検討の企業・機関の皆様への営業資料です。

サービスのご案内 SERVICE

「AGD半導体ウォッチ」は、半導体産業の転換点を、金額と一次資料で読み解く隔週のリサーチレポートです。2007年の専門誌連載「半導体ウォッチ」の系譜を受け継ぎ、2026年10月に創刊しました。AIインフラ投資の回収可能性、メモリとパッケージのボトルネック、米中対立下のサプライチェーンの実像、そして日本の製造装置・材料が握る「急所」を、予測し、記録し、検証する ― その循環を、隔週でお届けします。本レポートの主旨は、明るいデジタル社会の未来を描くことにあります。ただし、その未来は無条件ではありません。リスクを先に名指しし、回避の道筋を提言する ― 地政学の読みと、警鐘と提言こそが、本レポートの差別化です。

形式

隔週発行（年26回）。表紙＋本文4ページのサマリー形式。日本語版・英語版をご用意しています。

購読料（税別）

スタンダード　年120,000円
創刊記念価格　年98,000円（2027年3月末までのお申込み）
法人ライセンス（同一社内5名まで）　年600,000円

分析の方法

一次資料（決算・当局開示・公式発表）を土台に、投資規模と回収可能性へ論点を絞り、受益と負担の構造を分解します。最後に地政学の視点を重ね、米中対立下で産業の座席がどう動くかまで読みます。予測は号をまたいで検証し、判定を記録します。

予測の記録（公表済み）

2006年　サブプライム危機を半導体市場のリスクとして名指し
2020年　ファーウェイをAIチップの「東の横綱」と位置づけ
2021年　ファーウェイのEV覇権を予測
2023年　対中半導体規制の限界を指摘
2026年　AIバブル崩壊後の国際AIインフラ競争を展望

お問い合わせ　**リサーチディレクター 中山 宜之**　Tnakayama@a-gd.jp

発行予定表 RESEARCH PLAN

号	発行	テーマ	区分
第0号	2026年10月30日	一部関係者限定 — 予測の記録とNVIDIAをめぐる循環取引の構造	発行済み
第1号	2026年10月31日	「1兆ドルの約束」— アンソロピックのS-1が開示した支払い義務と、選別の始まり	発行済み
第2号	2026年11月14日頃	AIの電力爆食いと原子力 — ハイパースケーラーの自前電源競争	発行予定
第3号	2026年11月28日頃	銀行になった半導体 — 循環の輪と、選別の始まり	発行予定
第4号	2026年12月12日頃	ファーウェイ／ハイシリコン — 「東の横綱」の検証と未来戦略	発行予定
第5号	2026年12月26日頃	ファーウェイのEVプラットフォーム — クルマの頭脳を取る者	発行予定
第6号	2027年1月9日頃	中国メモリの躍進 — DRAMとNAND、そしてエルピーダの教訓	調査分析候補
第7号	2027年1月23日頃	中国ビッグテックのデータセンター — 内モンゴルの集積と北京という需要	調査分析候補
第8号	2027年2月6日頃	ウェアラブル市場 — スマートウォッチ、イヤフォン、スマートグラス	調査分析候補
第9号	2027年2月20日頃	ラピダスと日本政府の半導体戦略 — 課題と処方箋	調査分析候補
第10号	2027年3月6日頃	ポスト・トランプと米中半導体戦争の行方 — 制裁の実像	調査分析候補
第11号	2027年3月20日頃	バブル後の「ポスト・データセンター」 — フィジカルAIとエッジAI	調査分析候補
第12号	2027年4月3日頃	中国半導体製造企業の技術キャッチアップと「実シェア」の獲得	調査分析候補
第13号	2027年4月17日頃	エッジAI PCのビジネス変革 — クラウドの負担と、エージェントAIの広がり	調査分析候補
第14号	2027年5月1日頃	宇宙データセンターと衛星コンステレーション — 「宇宙を制するものが地上を制する」	調査分析候補
第15号	2027年5月15日頃	パワー半導体の未来 — ダイヤモンド半導体の可能性	調査分析候補

※ 第6号以降は調査・分析の候補テーマです。市場環境・取材状況により、テーマおよび発行時期が入れ替わる場合があります。

※ 第2号〜第5号のテーマは発行計画として確定していますが、発行日は前後する場合があります。

発行　**アーキテクトグランドデザイン株式会社（AGD）**　／　発行人・監修　**豊崎 禎久**　／　編集　**チーフアーキテクト**　／　監修協力　**外部専門家**

お問い合わせ　**リサーチディレクター 中山 宜之**　Tnakayama@a-gd.jp